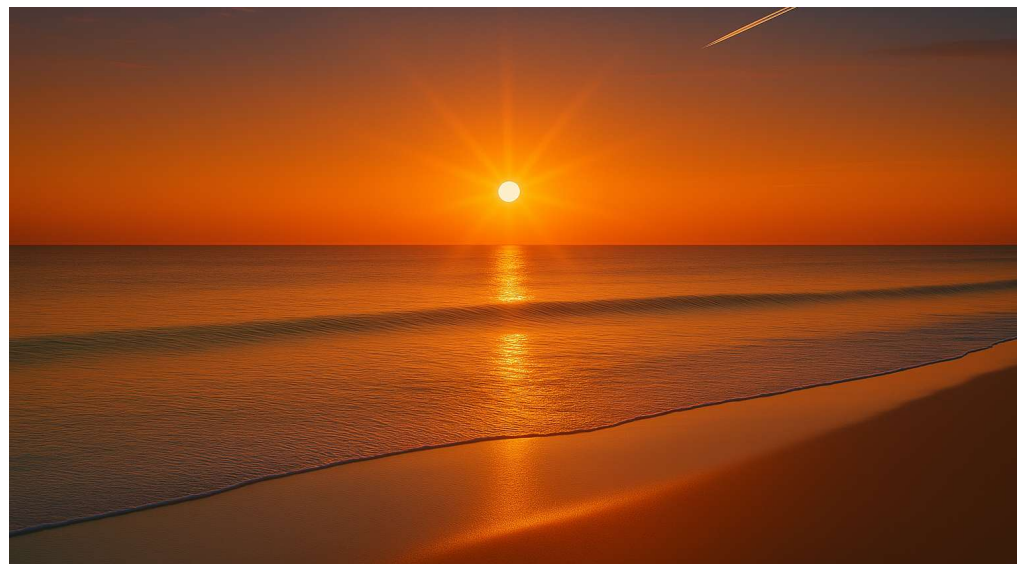


明日の大空へ翔く



会社概要・業務紹介



令和7年8月28日 第11回空の移動革命に向けた官民協議会

株式会社 レイメイ



明日の大空へ翔く

株式会社レイメイ

陸・海・空の交通に関する知識と経験を豊富に有する仲間の力を結集し、交通の仕組みやシステムにかかわる専門知識・技術及び人材をタイムリーにご提供します。

無人機・空飛ぶクルマ
の利活用に関する研究

飛行方式設計
設計専門家人材育成

航空分野
専門文献の翻訳

外国エアラインの
本邦乗り入れ支援

調査・研究・教育・
コンサルティング

空域・経路設計

- **航空交通に関する調査・研究及びコンサルティング**事業
(航空関係各種規程類及び文献の翻訳)
- **情報処理**に関する調査・研究及びコンサルティング事業
- **飛行方式及び空域の設計**に関する調査・研究及びコンサルティング事業
- **航空の安全**に寄与する事業
- 航空交通関係業務に関する**教育関係**の企画、実施及び技術交流等の事業
- **運航及び空港運営**に関する支援事業
- 航空交通等に関する**情報の提供**事業
- 航空交通に関する**人材派遣**事業
- **無人航空機全般に関する調査・研究及び検討サポート**事業

レイメイの強み・空飛ぶクルマに関わる業務展開



《レイメイ社員の主な職歴》



レイメイの強み：航空管制・航空機運航の実務経験が豊富な社員で構成されている

・空飛ぶクルマの飛行経路の設計（PANADES使用）や空域デザインの設計を通して、航空交通管理・空域管理の新たな手法の構築・実装に寄与することができる

次世代空モビリティに関わる業務展開

- ・諸外国の技術基準、機材開発、運用計画などの調査研究
- ・国内関連事業者と共同した技術開発
- ・多頻度運航を可能とする経路ネットワークデザイン、高精度な飛行経路の実設計、安全性検証手法の開発
- ・航空交通管理システムの運用要件の開発

令和7年度には、空港設置管理者や自治体による空飛ぶクルマ調査事業において、飛行経路設計、管制運用要件・UATMシステム運用要件等の検討調査を担当している。

将来の交通管理イメージ - 空モビリティの包括的な交通管理システムに向けて-



初期運航段階から高精度な経路に沿って飛行することが重要

高精度経路ネットワークの必要性とは？

- ・あらかじめ飛行経路を明示できる → 安全性確保、社会受容性を促進
- ・運航スケジュールを管理しやすい → 予測精度・信頼性を向上
- ・交通管理のベースとなる → 空域資源の効率的な活用・全体最適の実現

④【包括的な交通管理システム】

関係者間の情報共有・合意形成に基づく、全ての空モビリティを
包含する交通管理システムを導入

③【動的な空域管理】

経路・空域の時空間分離による空域資源
の利活用を促進

②【経路ネットワーク展開】

経路ネットワークの展開により空間
分離と高密度化を実現

①【高精度な経路設定】

障害物の回避、運航の予測精
度・信頼性を向上

